

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	青谷学園	施設種別	知的障害者入所更生施設 (旧体系：)
評価機関名	社団法人 京都社会福祉士会		

平成19年11月23日

総 評	<p>京都府城陽市青谷に拠点を置く知的障害者入所更生施設で、隣接して授産施設があります。今回の福祉サービス第三者においては、その準備に6か月を費やし、その期間内に自ら問題点を洗い出し改善策を考え、その対策を実施し、改善の結果を受けて今回の調査当日を迎えられました。施設長を先頭に職員が一丸となってこの目標に向かって取り組まれ、今回の評価に臨まれたことを、高く評価いたします。そのため各項目においても、非常に良い評価が得られています。園内も明るく、自治会長を始めとして、入所者の自主的な生活が送れるような工夫が随所に見られました。今後は、施設として地域及び各機関等との有機的な連携を図られ、地域の核となる努力を進めて頂ければ、なおいっそう秀逸な障害者施設となっていかれると期待します。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ●施設長がこの施設の運営についてしっかりとしたポリシーを持って運営されていることが伝わってくる施設です。理念及び運営方針を利用者にわかりやすく説明するための工夫が優れています。 ●施設内に自治会があり、活発に活動されていることを評価いたします。 ●利用者に対するサービスの実施については、アセスメントからモニタリングまでに一貫した流れがあり、サービスの質の確保への取り組みが感じられます。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ●人事考課システムの検討が求められます。 ●地域・関係機関との連携を今以上に強めるとともに、地域の福祉ニーズをつかんで今後の事業展開にプラスになるような取り組みを期待します。 ●利用者の高齢化は、避けて通れない問題です。今後利用者が引き続き安心して学園で生活を続けられるように利用者の高齢化に伴う研修をさらに充実させてはいかがでしょうか。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【共通評価基準】

評価結果対比シート

受診施設名	青谷学園
施設種別	知的障害者入所更生施設
評価機関名	社団法人 京都社会福祉士会
訪問調査日	平成19年11月21日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	A	A
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	B	A
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	A	A
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	A	A
	I-2-(2) 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。	A	A
		② 計画が職員や利用者等に周知されている。	A	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

・この大項目 I については、理事長及び管理者の方とのインタビューでも、自らの状況をよく把握したうえで、明確なビジョン及びポリシーを持っておられ、よくまとめあげられているという印象を持ちました。

I-2-(1)①②中長期計画においても、今後の状況も踏まえて設定されております。
I-2-(2)②理念や基本方針が職員によく周知徹底されています。理念の周知という観点において、掲示も利用者の方々にわかりやすい表現に置き換え、漢字には全てふりがなをつける等の工夫が見受けられました。

I-3 管理者の責任及びリーダーシップが明確にされ、組織として非常に良くまとまっています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	B
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	B	A
		③ 外部監査が実施されている。	A	A
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	C	C
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	B
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	A
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	A
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		A	A	
II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A	A
		② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	A	A
II-4 地域との交流と連携	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	B	B
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	B
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	B
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	B	B
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	B	B
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		B	A	

【自由記述欄】

II-1-(1)①経営状況や改善すべき課題について毎月分析が行われています。
 II-1-(1)②施設長と職員は年1回面接はあるとのことでしたが、定期的開催されることを望みます。
 II-2-(2)①小規模ながら、次世代育成支援対策基本法に基づく対応をいち早くされているのは、評価いたします。
 II-4-(1)①施設の公開について、地域の方々が企画の段階から取り組めるようなものをご検討ください。
 II-4-(1)②施設の機能を地域に還元・提供することについて、検討をされてはいかがでしょうか？
 II-4-(1)③ボランティア育成に向けての具体的な取組みをされてはいかがでしょうか？
 II-4-(2)②関係機関・団体との連絡会・ネットワークづくりについて、なお一層考慮されるように望みます。
 II-4-(3)①福祉ニーズの把握及び地域民生委員等との連携の構築が今後望まれます。
 II-4-(3)②中長期計画で自らのポジションを明確にし、更生施設はそのまま残るべきとの立場を明確にしています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	A	A	
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A	
	Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。	① 利用者満足の向上に意図した仕組みを整備している。	A	A	
		② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	A	A	
	Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A	A	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A	
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A	
	Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	A	A
			② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	A	A
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。			B	A	
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	B	A	
		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	A	A	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	A	A	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A	
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A	A
	② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		A	A	
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	B	A	
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定	Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	A	A	
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	A	A	
	Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	A	A	
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	A	A	

【自由記述欄】

Ⅲ-1-(3)①自治会があり運営もなされています。また利用者の方々が職員に対して実直に発言でき、それに迅速に対応しています。その結果、入所者の方々からの本音も聞かれ、それが以後のサービスの見直し改善につながり、利用者満足度の向上にもつながっています。

Ⅲ-2-(1)①～③各委員会の中でもサービス向上委員会が活発に活動しており、利用者の満足度の把握に貢献しています。

Ⅲ-3-(2)①サービス開始時及び事業所の変更・家庭への移行の際にも、滞りなく利用者へ説明を行い支援できる体制が整っています。

Ⅲ-4-(1)①②サービス計画もアセスメントからプランニング、モニタリング、見直し等もできています。

Ⅲ-4-(2)①②各項目において非常によく整備されており、利用者満足度及びサービスの向上への職員一同の熱意が感じられます。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【付加基準】 評価結果対比シート 障害者児施設

受診施設名	青谷学園
施設種別	知的障害者入所更生施設
評価機関名	社団法人 京都社会福祉士会
訪問調査日	平成19年11月21日

【付加基準】障害者・児施設版 評価結果対比シート

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 利用者の尊重	(1)利用者の尊重	① コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされている	A	A
		② 利用者の主体的な活動を尊重している	A	A
		③ 利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている	A	A
		④ 利用者のエンパワメントの理念にもとづくプログラムがある	A	A

【自由記述欄】

A-1(1)①利用者の支援計画が立てられ、利用者本位のケアを目指す取り組みが行われています。アセスメントからモニタリングまでの過程ができています。

A-1(1)②利用者の意見を汲み取る援助が行われています。

A-1(1)③成年後見についても適切に支援が行われています。

A-1(1)④利用者のエンパワメントを引き出そうとする創意工夫が見られます。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 日常生活支援	(1)食事	① サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている	A	A
		② 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されている	A	A
		③ 喫食環境(食事時間を含む)に配慮している	A	A
	(2)入浴	① 入浴は、利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している	A	A
		② 入浴は、利用者の希望に沿って行われている	A	A
		③ 浴室・脱衣場等の環境は適切である	A	A
	(3)排泄	① 排泄介助は快適に行われている	A	A
		② トイレは清潔で快適である	A	A
	(4)衣服	① 利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援している	A	A
		② 衣類の着替え時の支援や汚れに気づいたときの対応は適切である	A	A
	(5)理容・美容	① 利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援している	A	A
		② 理髪店や美容院の利用について配慮している	A	A
	(6)睡眠	① 安眠できるように配慮している	A	A

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 日常生活支援	(7)健康管理	① 日常の健康管理は適切である	A	A
		② 必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる	A	A
		③ 内服薬・外用薬等の扱いは確実にされている	A	A
	(8)余暇・レクリエーション	① 余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている	A	A
	(9)外出、外泊	① 外出は利用者の希望に応じて行われている	A	A
		② 外泊は利用者の希望に応じるよう配慮されている	A	A
	(10)所持金・預かり金の管理等	① 預かり金について、適切な管理体制が作られている	A	A
		② 新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意思や希望に沿って利用できる	A	A
		③ 嗜好品(酒、たばこ等)については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の意志や希望が尊重されている	A	A

【自由記述欄】

A-2(1)~(6)支援計画に従って、日常生活支援についても利用者への個別対応に心掛けています。
A-2(1)①②嗜好調査についても随時実施され、利用者満足度の向上に寄与しています。食事はコストを常に意識し、栄養価も考慮されています。
A-2(1)①入浴は同性介助を原則とし、プライバシーにも配慮されています。
A-2(5)①理容ボランティアに来ていただいて、利用者の理容に役立てています。
A-2(7)①バイタルチェック、服薬管理も管理が行き届いています。
A-2(7)②医療機関と連携が取れており、歯科についても往診対応が整っています。
A-2(8)①日常生活支援についてのマニュアルが整備されています。さらに見直しの体制も整っております。利用者の個別ケアについての記録は詳細に記述がされており、記録のファイリングについても行き届いています。

施設内は清潔に維持されて、職員・利用者ともに活動しやすい環境が整っています。